

設立2年目がスタート！

— 平成19年度「通常総会」を開催しました。 —



通常総会の様子 H19年5月12日(土) 滑川交流センター大会議室

クラブはこんなことを目指しています

「住んで良かったというまち」を築いていきたい

会長 永山 堯康



地域の皆さんが気楽に、そして手軽に一緒になってスポーツを楽しみ、「健康で潤いのあるまち、滑川」を築いていくために、昨年4月に誕生しました滑川ファミリースポーツクラブが満1歳を迎えました。

この間、親子体操教室を始めとして、小学校の低学年を対象とした「複合スポーツ教室」や「テニス教室」、中高年を対象とした「かがやき健康教室」を毎週開催するとともに、「らぶりークッキングクラブ」や「キックベースボール大会」、「スキー教室」などのイベントを開催し、幼児からお年寄りまで、多くのみなさんにスポーツを通じた交流を楽しんでいただき、現在の会員は400名を超えております。このようにクラブが順調に活動できたのは、滑川地区にお住まいのみなさんのご理解とともに、日立市教育委員会や日立市体育協会、滑川学区コミュニティ推進会など関係機関のご支援、ご協力があったからであり、クラブを代表してお礼を申し上げます。

平成19年度は、さらに教室の数を増やすとともに内容の充実を図り、また地域のみなさんが集うことができる楽しいイベントを開催して、「毎日、笑顔に出会うことができ、笑い声を聞けるクラブ」づくりをさらに推進し、クラブの理念であります「住んで良かったというまち」を築いていきたいと思っております。ぜひ、クラブの活動にご参加ください。



●クラブ会員 H19年6月現在

教室	コース	指導者	会員数
親子体操教室	ほっぷくらぶ	小田倉 洋子	80
	すてっぷくらぶ1	富田 千恵子	66
	すてっぷくらぶ2	岸田 みゆき	76
かがやき健康教室	わくわくコース	久保 嘉江	29
	楽らくコース	増子 千代美	21
複合スポーツ教室	キッズクラブ	外部指導員,永盛常雄他	43
テニス教室	レッドコース	北條 四郎	12
	グリーンコース		10
	ブルーコース		12
	イエローコース		9
	オレンジコース		13
クラブスタッフ・サポーター会員			35
会員合計			406

アイデアやパワーを募集中！

ボランティアスタッフとして、広報活動や事業のお手伝いをしていただけの方を募集しています。

また、こんなスポーツをしてみたい！こんな企画をしてほしい！と思っていいたら、下記までご連絡ください。

H19年度の新規事業として検討していきます。

滑川ファミリースポーツクラブ事務局
TEL & FAX 050 (8012) 4788
(平日13:00~17:00)



H19年度の各教室がスタートしています。



教室	活動の様子	教室	活動の様子
かがやき健康教室 (滑川市民体育館) 「わくわくコース」 「楽しくコース」 毎週金曜日	 40歳以上の男女	複合スポーツ教室 (滑川小学校体育館) 「キッズクラブ1」 毎週水曜日	 小学1・2・3年生
親子体操教室 (滑川市民体育館) 「ほっぷくらぶ」 毎週月曜日	 3・4才児と保護者	キッズテニス教室 (スポンジテニス) (日立電線体育館) 「レッドコース」 毎週水曜日 「ブルーコース」 毎週金曜日	 5・6・7才児
親子体操教室 (滑川市民体育館) 「すてっぷくらぶ1」 毎週木曜日 「すてっぷくらぶ2」 毎週月曜日	 5・6才児と保護者	キッズテニス教室 (硬式テニス) (日立電線日高 テニスコート) 「グリーンコース」 毎週水曜日 「イエローコース」 毎週金曜日 「オレンジコース」 毎週月曜日	 8・9・10才児



他にも楽しいイベントを企画しています！
 会員以外の方も奮って参加してね。



7/16 日立市出身者による
 ジョイントコンサート



滑川ファミスポ「屋台村」



スキー教室



みんなで楽しんじゃいませよ～！



親子クッキング教室



キックベースボール
 大会



活動報告 - スキー教室 -



「白銀に舞う」滑川スキー教室

滑川ファミリースポーツクラブ事業部
滑川学区子ども会育成連合会 副会長 沼田 勝寛

滑川学区子ども会育成連合会を母体とする毎年恒例の「スキー教室」が、昨年4月に発足した総合型地域スポーツクラブの支援を受けて、2月10・11日の両日、福島県猪苗代スキー場において、小学2年生以上の親子、中学生、役員等、総勢27名の参加のもと開催されました。

当初は、暖冬異変で積雪が心配されましたが、天の恵みで本番を迎えることができました。初日の午前中は、スキー経験のランク別にプロのインストラクター4名を配置して、基礎から無理なく技術を体得し、午後のフリー滑走では、初体験の小学2年生の親子も、その上達ぶりに感激の声を上げていました。小学校入学の年から毎年参加している子も今年は中学2年生、来年は高校受験のため、最後の思い出に友人たちと華麗な滑りを披露してくれました。

参加者にとって、激変する天候にも拘わらず、自然の厳しさとスキーの楽しさを満喫した2日間でした。今後とも、地域に根ざした生涯スポーツの機会を提供していきたいと思ひます。



今年のスキーも、楽しい思い出となりました。昨年よりも上手に滑りました。自分でも思います。来年は受験生のため行くことは難しいけれど、高校生になってまた、行けたらいいなと思います。ありがとうございました。

中2年 西浦 史穂

今年のスキーでは、あまりにもバツた事のない人と友達になることができました。そのためみんな思い切り滑って楽しめました。このスキー教室は私にとって、スキーを楽しむ場であり、友達との信頼関係を築く場

があると思ひます。参加はよかったです。

中2年 林 理奈

今年もこのスキーに参加し、楽しい思い出を作ることができました。来年は受験生のため行くことは難しいけれど、高校生になってまた、行けたらいいなと思います。ありがとうございました。スキーも続けていきたいです。

中2年 山上 果



参加した感想をひとこと!

私は、この猪苗代スキー教室を通して、スキーの楽しさを学びました。友達と滑る時間は本当に楽しいです。来年も参加したいと思います。

2年 鈴木 美砂

今年のスキー教室に参加して、とても楽しかったです。友達と滑る時間は本当に楽しいです。来年も参加したいと思います。

中2年 秋山 翔



スキー教室に参加して、とても楽しかったです。友達と滑る時間は本当に楽しいです。来年も参加したいと思います。

中2年 小野寺 実香

私は、初めてのスキー教室に参加して、とても楽しかったです。友達と滑る時間は本当に楽しいです。来年も参加したいと思います。

1年 十栗 咲羅

今年のスキーも、楽しい思い出となりました。昨年よりも上手に滑りました。自分でも思います。来年は受験生のため行くことは難しいけれど、高校生になってまた、行けたらいいなと思います。ありがとうございました。

2年 小野寺 実香

クラブの収支報告

平成18年度決算書

平成19年度 予算書

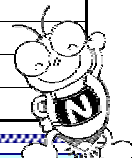
収入 6,378,225 円
 支出 6,376,619 円
 差引残高 1,606 円 (平成19年度へ繰り越し)

収入	費目	H19予算	H18予算	増減	摘要
年会費	624,000	624,000	0	0	大人2,000円 中学生以下1,000円
教室参加費	6,388,000	5,380,000	1,008,000		
市補助金	200,000	300,000	△ 100,000		
toto助成金	680,000	0	680,000		
賛助金	0	0	0		
繰越金	1,606	0	1,606		
雑収入	5,000	0	5,000		預金利子等
合計	7,898,606	6,304,000	1,594,606		

収入	費目	決算額	予算額	増減
年会費	618,100	624,000	△ 5,900	
教室参加費	5,454,145	5,380,000	74,145	
市補助金	300,000	300,000	0	
雑収入	5,980	0		
合計	6,378,225	6,304,000	74,225	

支出	費目	H19予算	H18予算	増減	摘要
諸謝金	3,982,000	3,485,000	497,000		指導者謝金
旅費	290,000	80,000	210,000		研修会参加費等
借損料	129,980	50,000	79,980		コピー機利用料等
印刷製本費	170,000	32,000	138,000		広報紙発行費
備品費	80,000	180,000	△ 100,000		教室用器具購入費
消耗品費	1,236,700	977,140	259,560		スキーリフト代等
会議費	50,000	48,400	1,600		視察受入時飲物代
通信運搬費	190,000	92,000	98,000		電話代等
賃金	1,319,000	598,400	720,600		事務局スタッフ賃金等
保険料	340,000	440,000	△ 100,000		傷害保険加入費
雑役務費	10,000	160,270	△ 150,270		手数料
基金積立金	50,000	100,000	△ 50,000		
予備費	50,926	60,790	△ 9,864		
合計	7,898,606	6,304,000	1,594,606		

支出	費目	決算額	予算額	増減
諸謝金	3,078,380	3,485,000	△ 406,620	
旅費	302,500	80,000	222,500	
借損料	104,430	50,000	54,430	
印刷製本費	174,188	32,000	142,188	
備品費	245,726	180,000	65,726	
消耗品費	1,102,067	977,140	124,927	
会議費	100,174	48,400	51,774	
通信運搬費	240,953	92,000	148,953	
賃金	643,816	598,400	45,416	
保険料	282,075	440,000	△ 157,925	
雑役務費	2,310	160,270	△ 157,960	
基金積立金	100,000	100,000	0	
予備費	0	60,790	△ 60,790	
合計	6,376,619	6,304,000	72,619	



みんなのクラブづくり

各種研修会・講演会等に参加して得られた情報をシリーズで掲載するコーナーです。子育てのヒントあり、時にはクラブの運営管理方法等の情報を交換し共有する場であったりと、みなさんと共にクラブのステップアップに繋げていけたらと思います。

「今、ボールは誰だ?!」

クラブマネージャー 土田 宏

30年程前、私が30歳過ぎに聞いたあの言葉が、今も鮮烈に残っています。『今、ボールは誰だ?!』これがその言葉で、以降何かにつけ自分の行動のチェックポイントにしております。この言葉、王貞治さんの育ての親といわれている、ヤクルト元監督の荒川さんが、スポ少野球教室における挨拶の中で話したことなんです。

当時、私は滑川野球少年団の指導者をしており、市内のスポ少のチームがこの滑川市民グラウンドに集まり、野球教室が行われました。指導者は荒川さんを始め、あの怪童といわれた東映フライヤーズの尾崎投手、そして主催者側(スポンサー)の1名の3名という豪華な方々。

参加者は総勢300名位だったでしょうか。バックネット前にみんな集まり開会のセレモニーが始まりました。司会者の案内に促され、挨拶に立った荒川さん、開口一番「お前ら、野球なんかする資格はない! 帰れ!」って怒鳴ったんですね。ざわめいていた300名の子ども達(何十人かいた大人も共犯者?)は、次の瞬間シーンとなっていました。私は、一体何事が起こったのかと身が引き締まったのを覚えています。次の言葉が出て来るまでどれ位あったでしょうか。しばらく間をおいて「あのな、お前らな、もう野球は始まっているんだよ。野球はボールから目を離すと出来ないんだよ。今、ボールはどれだと思う?」 又しばらく間を設けて「今、ボールはな、この俺なんだよ。俺の顔を見れない奴は、野球なんかやる資格がないんだ。学校だってそうだよ。授業中に先生の顔を睨みつけて話を聞かなくっちゃ!」 話はこんな調子で終わりました。

そういえば、ボールから目を離すんじゃないってよく言いますし、よく聞きます。これは、野球に限ったことではなく、どんなスポーツであれ、はては、日常生活の中で相手がいてコミュニケーションを図っている時でも大事なことのひとつではないでしょうか。キャッチボールをしている時、相手のどこを見て投げるでしょうか。たまたま悪送球になって、草むらに転がり込んでいったボールを素早く見つけ拾って戻ると、いつまで経ってもボールが見つからない子。やっぱり、素早く見つけて来る子は、ボールが草むらに転がり込んで見えなくなるまで、ボールから目を離していないんですよ。ですから、投げられた暴投を捕球出来なかった子に早く拾って来るよう、よく怒鳴っていたものです。暴投をした本人が、拾いに行く辛さを感じてくれることを願っています。

キャッチボールってコミュニケーションを図っているようなもの。上手くいけばこんなに楽しいことはありませんよ。